

# Jugend Philharmoniker

## The 1st Concert

ユーゲント・フィルハーモニカー  
第1回定期演奏会



Bunkyo Civic Hall

2007. 3.23 Fri.

19:00 start

### <ごあいさつ>

代表 安齋 拓志

本日は演奏会にお越しいただきありがとうございます。私どもユーゲント・フィルハーモニカーは、財団法人日本青年館主催のオーケストラ・フェスタや選抜オーケストラのヨーロッパ公演に参加したメンバーを中心として昨年4月に発足したアマチュアオーケストラです。メンバーは首都圏在住の大学生と社会人が中心となっています。

まだ生まれて間もないオーケストラのサウンドを構築していく上で、メンバーひとりひとりの力を引き出し、ひとつにまとめあげていくプロセスは非常に魅力的なものでした。かれらの個性がひとつに結びついたときの爆発力は、目を見張るものがあります。今日はそんな団員たちの持つエネルギーを感じていただけたらと思います。

今年1月6日の読売新聞の中の勝方信一さんの連載『教育“現”論』においてユーゲント・フィルが紹介されました。そのインタビュー取材の中でも述べたのですが、人との繋がりが希薄な現代において人と人を繋ぐ音楽の役割はますます重要なものになりつつあるといえるでしょう。音楽活動を通してオーケストラが社会にどのように貢献していけるかを、模索していきたいと思っております。

さて、今回はシューベルトとブラームスの2つの交響曲を演奏いたします。偉大なシンフォニスト、ベートーヴェンに対する憧憬と畏怖によって紡がれた両作品を通じて、「交響曲」というジャンルの持つ魅力を少しでも感じていただけたら幸いです。

最後になりましたが、ユーゲント・フィルを立ち上げるにあたってお力添えいただいた全ての皆様にご場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

◆ユーゲント・フィルハーモニカー公式サイト◆

<http://timpani.minidns.net/jugend/>

### <指揮者紹介>



河地 良智 Yoshinori Kawachi

桐朋学園大学指揮科に学び、斎藤秀雄、秋山和慶両氏に師事。多くのオペラを指揮し、83年には文化庁派遣員としてドイツ・バイエルン国立歌劇場でW. サヴァリッシュ氏、ミラノ・スカラ座でG. バタネ氏、西独バイロイト祝祭歌劇場でW. ワーグナー氏、ブラハ国立歌劇場ではZ. コシュラー氏について、歌劇場での研鑽を積む。97年から、日本高校選抜オーケストラ・ウィーン公演を指揮。98年には日本ユングオーケストラを結成、8月北京で日中合同オーケストラ公演を指揮。05年、日本ユングオーケストラ再結成。9月にオーストリア・インスブルックでの公演を指揮。それらの貢献により、北京市日中交流センター、オーストラリア・ブルゲンランド州、また諫早市より文化特別賞等を受賞。

現在、洗足学園音楽大学教授及び同大学院音楽研究科長、東京藝術大学講師、二期会オペラ研究所講師として後進の指導にあたっている。

### <曲目紹介>

シューベルト 交響曲 第7(8)番 ロ短調「未完成」  
シューベルトは夭逝の作曲家である。ベートーヴェンより27歳若いベートーヴェンの翌年に亡くなっている。そのためシューベルトは活躍年代から言えば古典派と前期ロマン派にまたがっているが、活動前期は歌曲や室内楽といった小規模の作品が多く、ベートーヴェンが第9を作曲して大曲の作曲から一線を退いた以降ではロマン派的な傾向の強い曲を作っている。シューベルトはこの曲の3楽章のスケッチを作りかけて中断している。未完成の交響曲として他にブルックナーの第9番、マーラーの第10番、チャイコフスキーの第7番、ベートーヴェンの第10番などがある。しかし、「未完成」と言うとはとんどの人がシューベルトの作品を連想するだろう。これほど有名な「未完成」は非常に珍しい。

1 楽章は繊細な緊張感の楽章である。低弦の静かに張り詰めた旋律から始まり、時折 Tutti でドラマティックな解決を見せるも最後までその緊張感は持続する。しかし、緊張感は2 楽章でゆるやかに解き放たれていく。

ブラームス 交響曲 第1 番 ハ短調 作品6 8  
ブラームスはこの交響曲を作曲するにあたって2 0 年以上の年月を費やした。ブラームスがこれほど慎重に第一番を作曲した理由はベートーヴェンの残した交響曲群に強い憧憬と劣等感を抱いていたためである。交響曲第一番はハンス・フォン・ビューローに「ベートーヴェンの交響曲第1 0 番」と言わしめるほどの完成度を示し、交響曲史上最も重要なレパートリーとなった。

この曲で特に有名なのは4 楽章の第一主題である。朗々としたホルンのソロに導かれ、弦楽器が歌い始める旋律は非常に美しい。このホルンソロのメロディはブラームスの密かな恋の相手であったとされるシューマンの妻クララへの愛を表しているとされ、クララへ宛てた誕生日を祝う手紙の中で

"Hoch auf'm Berg, tief im Tal, grüß ich dich viel tausendmal"

(「高い山から深い谷から、君に何千回も挨拶しよう!」) という歌詞が付けられている。

### <プログラム>

シューベルト /  
交響曲第7(8)番 ロ短調 《未完成》D.759  
Franz Schubert  
Symphony No.7(8) In B Minor D.759 "Unfinished"  
第1 楽章 Allegro moderato  
第2 楽章 Andante con moto

### ～休憩～

ブラームス /  
交響曲第1 番 ハ短調 Op.68  
Johanes Brahms  
Symphony No.1 In C minor Op.68  
第1 楽章 Un poco sostenuto - Allegro  
第2 楽章 Andante sostenuto  
第3 楽章 Un poco allegretto e grazioso  
第4 楽章 Adagio - Piu andante  
-Allegro non troppo, ma con brio

指揮：河地 良智

# Jugend Philharmoniker The 1st Concert

ユーゲント・フィルハーモニカー  
第1回定期演奏会



Bunkyo Civic Hall

2007. 3.23 Fri.

19:00 start